

4領域の内1領域に偏りのある類型

- 他と比べて《言語》に困難が多い -

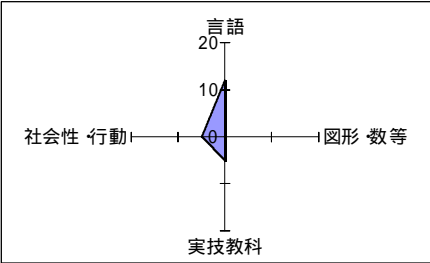
<例> 小学5年生 男子

人数	5	学年別	小4	小5	小6	中1	中2	中3
				1		1		3

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
0	11	0

(2) プロフィール



言語に偏りのあるタイプの児童生徒に共通して見られるのは、抽出基準は満たしていませんが、社会性・行動のいくつかの項目で課題が指摘されていることです。また、5名中4名が登校しづりで、深刻な不登校状態の児童生徒はみられません。このタイプは、コミュニケーションの弱さのために、社会性や教科学習でのつまずきが進む可能性もあります。登校の機会が比較的多いので、不得意でない体育などの教科学習で、認められる経験をもたせることに配慮していく必要があると考えられます。

(3) 指摘されている項目

言語	聞く	場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い	音楽	鍵盤ハーモニカ、リコーダー等で学年相当の曲を演奏する
		指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い		鍵盤楽器を演奏する
		聞いたことがなかなか記憶できない		リズムを伴った打楽器の演奏ができる
		相手の話を聞いていないことが多い		身体表現をしながら歌をうたう
話す	話す	話し合いについていけないことがしばしばある	図工	他のパートとの協調を意識して合唱する
		話がやりとりにならない、一方的に話す		はさみを使い、直線や曲線に沿って紙を切る
		特定の音が不明瞭である		折り紙の端を揃えて折る
		助詞の誤りが目立つ話し方をする		手指、掌等を十分働かせて、粘土で立体を作る
読む	読む	的確なことばを見つけれなかったり、詰まったりすることが多い	体育	彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う
		話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま語を並べて話す		見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す
		促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み違える		ラジオ体操等、徒手体操
		一字一字は読めるが、たどり読みであったり、順序を読み違えてとばしたり戻ったり、混乱することが多い		かけっこ、リレー等の走の運動
書く	書く	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む	授業態度	幅跳び、ゴム跳び、反復横跳び等の跳の運動
		文章の内容を把握できない		登り棒、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動
		基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う		縄跳び
		促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない		ボールの操作（投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等）
図形・数等の力	図形	「だから」「けれども」などの接続詞を適切に使えない	社会性・人間関係	スキップ動作
		漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、鏡文字を書くことがある		模倣の運動
		ある程度のとまりのある文章が書けない		表現運動
		基本的な図形を用いて、作図や図形の構成をする		ゲーム（鬼ごっこ、ドッジボール、ポートボール等）
日常生活の数に関する力等	数	図形（二等辺三角形、正三角形など）の特徴をつかむ	生活習慣	席にじっと座ってられないことが目立つ
		円や球について、中心・直径及び半径を知る		おしゃべりが非常に多い
		コンパスを用いて円を描く		雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい
		～の上に（下に）～の右に（左に）～の前に（後ろに）などの空間を表すことばの意味が分かる		新しいもの、難しそうなものだと「分からない、出来ない」と言って、学習や活動への取り掛かりが遅い
日常生活の数に関する力等	数	2位数同士の加法・減法計算を30秒程度の時間内でする	人間関係	黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い
		くり上がりくり下がりを忘れず、4位数までの加法・減法の筆算をする		ぼーっとしている時間が多くみられる
		多操作計算問題を解く(例 $8 \times 2 - 5 \times 3$)		他児にちょっかいを出すことがとても多い
		万の単位について知り、それらの数の大小や順序を理解する		教師の注意をひこうとする振る舞いが多い
日常生活の数に関する力等	数	乗法九九を暗唱し、2位数×3位数で、正しい位取りで筆算をする	生活習慣	質問に対して的外れな答えをすることが多い
		2または3位数÷1位数で、正しい位取りで筆算をする		手悪さをしばしばする
		10倍、100倍、10分の1などの大きさの数及びその表し方が分かる		相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い
		簡単な小数、分数の意味を理解し、加法・減法の計算をする		他児へのタッチが強すぎたり、けんかが極端に多い
日常生活の数に関する力等	数	棒グラフの読み方及び書き方を理解する	生活習慣	いつも独りでいて、友達と口をきくことはめったにない
		文章題を読んで、立式する(加法・減法・乗法)		教師の問いかけに対して黙っていて答えようとしていない
		電話番号（市外局番を除く程度の桁数）の数字を記憶する		教師からの働きかけに対して口ごたえが多い
		時間概念を表すことば(きのう・今日・あした、去年・今年・来年、より早い・より遅いなど)の意味が分かる		忘れ物が非常に多い
日常生活の数に関する力等	数	日常生活に必要な程度の時刻や時間を計算によって求める	生活習慣	遅刻が多い
		～から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間、順序の基準になることばの意味が分かる		机の中、ロッカーの中がとても乱雑である
		「重さ」「面積」の単位が分かり、測定をする		偏食、過食、少食などが著しい
				物をよくなくしたり、壊したりする

4領域の内1領域に偏りのある類型

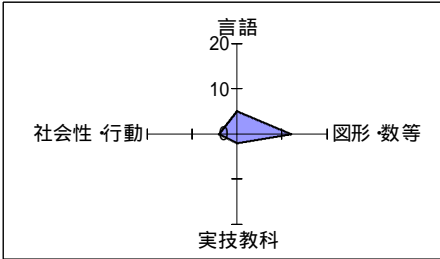
- 他と比べて《図形・数等》に困難が多い -

<例> 中学2年生 男子

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
22	0	0

(2) プロフィール



図形・数等に偏りのある児童生徒は、1領域に偏りを示す類型の中では最も多く、特に中学生に多く見られます。12名全員が社会性・行動における人間関係の項目に指摘は少ないのですが、その内9名は不登校にもなっています。

図形・数以外の領域では「自己有能感」をもちやすい可能性があります。教育相談等を通して、人間関係を深めながら、興味や関心のあることを糸口にし、得意なことで自信をつけさせ援助していくことも必要だと考えられます。

(3) 指摘されている項目

言語	聞く	場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い	音楽	リコーダー等旋律楽器で学年相当の曲を演奏する
		指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い		リズムを伴って打楽器を演奏する
		聞いたことがなかなか記憶できない		曲想や気持ちを表現をしながら歌をうたう
		相手の話を聞いていないことが多い		他のパートとの協調を意識して合唱する
		話合いについていけないことがしばしばある		集中して鑑賞する
	話す	話がやりとりにならず、一方的に話す	美術	はさみやカッターナイフを使い、直線や曲線に沿って紙を切る
		特定の音が不明瞭である		紙の端を揃えて折ったり、畳んだり、物を包んだりする
		助詞の誤りが目立つ話し方をする		手指、掌等を十分働かせて、粘土などで造形する
		的確なことを見つけられなかったり、詰まったりすることが多い		彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う
		話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま語を並べて話す		見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す
読む	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み違える	体育	ラジオ体操等、徒手体操	
	一字一字は読めるが、たどり読みであったり、順序を読み違えてとばしたり戻ったり、混乱することが多い		リレー等の走の運動	
	行をとばしたり、語を付け加えたりして読む		幅跳び、高跳び、反復横跳び等の跳の運動	
	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む		マット、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動	
	文章の内容を把握できない		縄跳び	
書く	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う	授業態度	ボールの操作（投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等）	
	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない		スキップ動作	
	「だから」「けれども」などの接続詞を適切に使えない		模倣の運動	
	漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、アロファベットの文字に混同がある		表現運動	
	ある程度のとまりのある文章が書けない		ゲーム（バスケット、バレー、サッカー等）	
図形・数等の力	図形	三角定規・コンパスなどの器具を用いて、図形（円、多角形、平行四辺形など）を作図する	社会性・人間関係	席にじっと座ってられないことが目立つ
		図形の合同、対称に関して理解する		おしゃべりが非常に多い
		基本的な立体の特徴を理解する		雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい
		円周率の意味を理解し、計算に用いる		学習活動への取り掛かりが遅い
		～の上に(下に)、～の右に(左に)、～の前に(後ろに)などの空間を表すことばの意味が分かる		黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い
	数	乗法九九を暗唱し、整数の乗法・除法の計算をする	生活習慣	ぼーっとしている時がしばしば見られる
		約数・倍数を理解する		他の生徒にちょっかいを出すことがとても多い
		小数の乗法・除法計算をする		授業と関係ないことに没頭することがしばしばある
		分数の乗法・除法計算をする		質問に対して的外れな答えが多い
		2位数×(または÷)1位数の暗算をする		手悪さをしばしばする
日常生活に関する力等	多操作計算問題を解く(例 12×3-45÷9)	人間関係	相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い	
	一つの数を他の数の積や商としてみるなど、他の数と関係づける(例 3×4が12であることは分かるのに、12は3と何の積であるかがわからない)		他の生徒へのタッチが強すぎたり、トラブルやけんかが極端に多い	
	百分率を用いた計算をする		教師の声掛けや働きかけに対して、過敏であったり攻撃的な反応をしめしたりすることが多い(逆に、答えようとしなかったり、消極的反応が多い)	
	変化する数量間の関係を表やグラフで表す		話題が偏っていたり、その場の流れに合わない応答が多い	
	文章題を読んで立式する(加法・減法・乗法・除法)		独りでいることが多く、友達と口をきくことも少ない	
電話番号(市内局番を除く程度の桁数)の数字を記憶する	生活習慣	忘れ物が非常に多い		
時間概念を表すことば(一週間前・同後、一昨日・明後日、一昨年・再来年、より早い、より遅いなど)の意味が分かる		他の生徒よりワンテンが遅れる行動が多い		
日常生活に必要な程度の、おおよその長さや重さや容積の推測をする		机やロッカーの中がとても乱雑で、物をなくすことや、壊してしまうことが多い		
～から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間の経過や順序や比較の表現のためには用いる		身だしなみに極めて無頓着である		
数学の用語・記号・求積の公式を用いる		偏食、過食、少食などが著しい		

4領域の内1領域に偏りのある類型

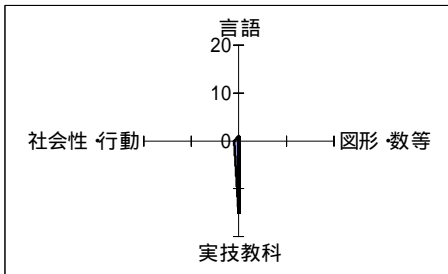
- 他と比べて《実技教科》に困難が多い -

<例> 小学6年生 男子

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
9	90	0

(2) プロフィール



実技教科だけに偏りを示すタイプです。1領域に偏りを示す類型の中では、人数は多くはありません。

このタイプの児童生徒に対しては、体の使い方や動かし方、手先の器用さにかかわる道具の使い方などを詳しく観察し、できるだけ適切な課題設定が望まれます。

それだけでなく、他の領域でも「成就感」や「自己有能感」がもてるように、学習や活動の場における配慮が必要であると考えられます。

(3) 指摘されている項目

言語	実技教科
<p>聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> 場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い 指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い 聞いたことがなかなか記憶できない 相手の話を聞いていないことが多い 話合いについていけないことがしばしばある <p>話す</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話がやりとりにならず、一方的に話す 特定の音が不明瞭である 助詞の誤りが目立つ話し方をする 的確なことばを見つけれなかったり、詰まったりすることが多い 話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま語を並べて話す <p>読む</p> <ul style="list-style-type: none"> 促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み違える 一字一字は読めるが、たどり読みであったり、順序を読み違えてとばしたり戻ったり、混乱することが多い 行をとばしたり、語を付け加えたりして読む 基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む 文章の内容を把握できない <p>書く</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う 促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない 「だから」「けれども」などの接続詞を適切に使えない 漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、鏡文字を書くことがある ある程度まとまりのある文章が書けない 	<p>音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> 鍵盤ハーモニカ、リコーダー等で学年相当の曲を演奏する 鍵盤楽器を演奏する リズムを伴った打楽器の演奏ができる 身体表現をしながら歌をうたう 他のパートとの協調を意識して合唱する <p>図工</p> <ul style="list-style-type: none"> はさみを使い、直線や曲線に沿って紙を切る 折り紙の端を揃えて折る 手指、掌等を十分働かせて、粘土で立体を作る 彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う 見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す <p>体育</p> <ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操等、徒手体操 かけっこ、リレー等の走の運動 幅跳び、ゴム跳び、反復横跳び等の跳の運動 登り棒、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動 縄跳び ボールの操作(投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等) スキップ動作 模倣の運動 表現運動 ゲーム(鬼ごっこ、ドッジボール、ポートボール等)
<p>図形・数等の力</p> <ul style="list-style-type: none"> 直線の平行や垂直の関係について理解する 図形(平行四辺形、台形、ひし形など)の特徴をつか 立方体及び直方体の特徴をとらえ、見取り図や展開図を描く コンパス、三角定規などの器具を用いて、円や多角形を描く ～の上に(下に)～の右に(左に)～の前に(後ろに)などの空間を表すことばの意味が分かる 2位数同士の加法・減法計算を30秒程度の時間内でする くり上がりくり下がり忘れず、4位数までの加法・減法の筆算をする 多操作計算問題を解く(例 $8 \div 2 - 5 \times 3$) 億・兆の単位について知り、それらの数の大小や順序を理解する 乗法九九を暗唱し、整数の乗法及び除法の計算をする 小数の意味を知り、加法及び減法の計算をする 分数の意味を知り、同分母の分数の加法及び減法の計算をする 四則の相互関係について理解する 変化する数量間の関係を表やグラフで表す 文章題を読んで、立式する(加法・減法・乗法・除法) 電話番号(市外局番を除く程度の桁数)の数字を記憶する 時間概念を表すことば(きのう・今日・あした、去年・今年・来年、より早い・より遅いなど)の意味が分かる 日常生活に必要な程度の時刻や時間を計算によって求める ～から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間、順序の基準になることばの意味が分かる 算数の用語・記号・求積の公式を理解する 	<p>授業態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 席にじっと座ってられないことが目立つ おしゃべりが非常に多い 雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい 新しいもの、難しそうなものだと「分からない、出来ない」と言って、学習や活動への取り掛かりが遅い 黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い ぼーっとしている時間が多くみられる 他児にちょっかいを出すことがとても多い 教師の注意をひこうとする振る舞いが多い 質問に対して的外れな答えをすることが多い 手悪さをしばしばする <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い 他児へのタッチが強すぎたり、けんかが極端に多い いつも独りでいて、友達と口をきくことはめったにない 教師の問いかけに対して黙っていて答えようとしな 教師からの働きかけに対して口ごたえが多い 忘れ物が非常に多い <p>生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> 遅刻が多い 机の中、ロッカーの中がとても乱雑である 偏食、過食、少食などが著しい 物をよくなくしたり、壊したりする

4領域の内1領域に偏りのある類型

- 他と比べて《社会性・行動》に困難が多い -

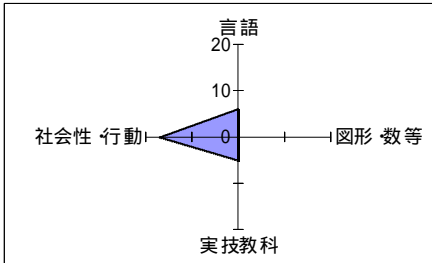
<例> 中学1年生 男子

人数	6	学年別	小4	小5	小6	中1	中2	中3
				1		2		3

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
28	2	8

(2) プロフィール



このタイプの児童生徒に共通して言えることは、言語と実技教科の項目にも、抽出基準は満たしていませんが、いくつか課題が指摘されていることです。また、中学生に多く見られます。自分の思いを言葉や体を使ってうまく伝えられないことが、対人関係等の社会性の課題につながっていると考えられます。教育相談等を通して、自己を客観視できる力を伸ばすとともに、基本的な対人関係のスキルをはぐくんでいく必要があると考えられます。

(3) 指摘されている項目

言語	聞く	場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い	音楽	リコーダー等旋律楽器で学年相当の曲を演奏する
		指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い		リズムを伴って打楽器を演奏する
		聞いたことがなかなか記憶できない		曲想や気持ちを表現をしながら歌をうたう
		相手の話を聞いていないことが多い		他のパートとの協調を意識して合唱する
	話す	話合いについていけないことがしばしばある	美術	集中して鑑賞する
		会話がやりとりにならず、一方的に話す		はさみやカッターナイフを使い、直線や曲線に沿って紙を切る
		特定の音が不明瞭である		紙の端を揃えて折ったり、畳んだり、物を包んだりする
		助詞の誤りが目立つ話し方をする		手指、掌等を十分働かせて、粘土などで造形する
	読む	的確なことを見つけられなかったり、詰まったりすることが多い	体育	彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う
		話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま語を並べて話す		見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す
		促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み違える		ラジオ体操等、徒手体操
		一字一字は読めるが、たどり読みであったり、順序を読み違えてとばしたり戻ったり、混乱することが多い		リレー等の走の運動
書く	行をとばしたり、語を付け加えたりして読む	社会性・行動	幅跳び、高跳び、反復横跳び等の跳の運動	
	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む		マット、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動	
	文章の内容を把握できない		縄跳び	
	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う		ボールの操作(投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等)	
図形・数等の力	図形	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない	授業態度	スキップ動作
		「だから」「けれども」などの接続詞を適切に使えない		模倣の運動
		漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、アロファベットの文字に混同がある		表現運動
		ある程度のとまりのある文章が書けない		ゲーム(バスケット、バレー、サッカー等)
	数	三角定規・コンパスなどの器具を用いて、図形(円、多角形、平行四辺形など)を作図する	人間関係	席にじっと座ってられないことが目立つ
		図形の合同、対称に関して理解する		おしゃべりが非常に多い
		基本的な立体の特徴を理解する		雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい
		円周率の意味を理解し、計算に用いる		学習活動への取り掛かりが遅い
		～の上に(下に)、～の右に(左に)、～の前に(後ろに)などの空間を表すことばの意味が分かる		黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い
		乗法九九を暗唱し、整数の乗法・除法の計算をする		ぼーっとしている時がしばしば見られる
		約数・倍数を理解する		他の生徒にちょっかいを出すことがとても多い
		小数の乗法・除法計算をする		授業と関係ないことに没頭することがしばしばある
日常生活の数に関する力等	分数の乗法・除法計算をする	生活習慣	質問に対して的外れな答えが多い	
	2位数×(または÷)1位数の暗算をする		手悪さをしばしばする	
	多操作計算問題を解く(例 12×3-45÷9)		相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い	
	一つの数を他の数の積や商としてみるなど、他の数と関係づける(例 3×4が12であることは分かるのに、12は3と何の積であるかがわからない)		他の生徒へのタッチが強すぎたり、トラブルやけんかが極端に多い	
百分率を用いた計算をする	教師の声掛けや働きかけに対して、過敏であったり攻撃的な反応をしめしたりすることが多い(逆に、答えようとしなかったり、消極的反応が多い)	忘れ物が非常に多い		
変化する数量間の関係を表やグラフで表す	話題が偏っていたり、その場の流れに合わない応答が多い	他の生徒よりワンテンポ遅れる行動が多い		
文章題を読んで立式する(加法・減法・乗法・除法)	独りでいることが多く、友達と口をきくことも少ない	机やロッカーの中がとても乱雑で、物をなくすことや、壊してしまうことが多い		
電話番号(市内局番を除く程度の桁数)の数字を記憶する	忘れ物が非常に多い	身だしなみに極めて無頓着である		
時間概念を表すことば(一週間前・同後、一昨日・明後日、一昨年・再来年、より早い、より遅いなど)の意味が分かる	忘れ物が非常に多い	偏食、過食、少食などが著しい		
日常生活に必要な程度の、おおよその長さや重さや容積の推測をする				
～から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間の経過や順序や比較の表現のためにはを用いる				
数学の用語・記号・求積の公式を用いる				